

# 令和7年度避難所運営体制強化事業委託業務 仕様書

- 1 件名 令和7年度避難所運営体制強化事業委託業務
  
- 2 事業目的 大規模災害が発生した場合等に、地域の自治会・自主防災組織の代表者や市町村職員、施設管理者、防災士などで設置される避難所運営委員会による住民主体の避難所運営をサポートする「避難所運営コーディネーター」を養成するために、有識者等を集めた避難所コーディネーターの在り方検討会議を開催し、育成に向けたカリキュラムを構築するとともに、当該カリキュラムに基づき、市町村が推薦した人材に対し、養成講座を実施する。
  
- 3 委託期間 契約締結の日から令和8年3月13日（金）までとする。
  
- 4 業務内容等
  - (1) 避難所運営コーディネーターあり方検討会の開催

避難所運営コーディネーターの役割とそれに伴った養成講座の内容等について、県と連携して、有識者等を交えて議論する検討会を開催する。

あり方検討会については下記のとおり行う。

【避難所運営コーディネーターあり方検討会（案）】

    - ①実施時期：令和7年7月頃（予定）
    - ②実施場所：県庁内会議室
    - ③構成メンバー：県・市町村防災関係者、福祉関係者、大学・NPO等、  
防災の知見を持つ有識者等
  
  - (2) 避難所運営コーディネーター養成講座の実施

大規模災害が発生した場合等に、避難所運営委員会による住民主体の避難所運営をサポートする「避難所運営コーディネーター」の養成を行う。講座内容は2日間を想定すること。

    - ①実施時期：令和7年9月（予定）
    - ②対象者：市町村が推薦する知見を有するNPOや地域で活躍する防災士等

③実施場所：県庁内会議室

④講座内容（案）

○1日目：避難所運営コーディネーターの必要知識、役割

○2日目：実際の避難所を想定した避難所運営訓練

※講座内容については、提案した内容をあり方検討会で協議の上、決定する。

(3) 被災地体験活動の企画・立案及び報告会の開催

養成した避難所運営コーディネーターから代表者2名選出し、被災地体験活動を実施する。被災地体験活動の企画・立案及びコーディネートを行うこと。

被災地体験活動に参加した避難所運営コーディネーターの被災地の体験活動報告会を開催すること。活動報告書作成に係る助言等も行うこと。

①実施時期：避難所運営コーディネーター養成講座実施後

②対象者：避難所運営コーディネーターの男女各1名

## 5 成果物

①納品成果

ア 上記4の業務において作成・使用した資料等一式…1部

イ アの電子データ（CD-ROM等）…1部

②成果品の納入

ア 業務が完了した際は速やかに完了通知書、成果物引渡書及び成果品を納入すること。

イ 成果品の納入場所は大分県生活環境部協働・共助推進室とし、持参又は簡易書留郵便で納入すること。